

丹波市
地域おこし
協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

観光を通して地域に誇りや愛着を

清水 健矢さん vol.48

経歴：大阪府出身。(株)ソフトバンク退職後、WEB制作と飲食店を経営。丹波市に移住後、交流人口の増加に取り組む。27歳
任期：令和元年7月～



丹波市に移住して約3年になる、清水です。令和元年から務めてきた協力隊の任期が6月末で満了になります。私はこれまで、丹波市にかかわる人を増やす「交流人口増加」を使命として、情報発信や各種イベントの企画運営、地域団体との連携を行ってきました。協力隊としての活動では、丹波市の人々の温かさやつながりに支えられたことで、たくさんの方々のことを実行することができました。ご協力、ご支援していただきました皆さまに、あらためて心より感謝申し上げます。

協力隊の任期終了後は、大きく次の3つの事業に取り組んでいきたいと考えています。1つ目は企業や個人向けに丹波市の魅力的な商品やサービスを宣伝するサポート事業、2つ目は人々の交流を促進する小規模なカフェ「コミュニティコーヒースタンド」の経営、3つ目は起業拠

点を創出するために、オフィスの設備を共有しながら仕事をする場所「コワーキングスペース」の新規開設事業などです。

また、このほかにも任期中に行っていた観光ポータルサイト「Tamba Style」の運営や、各種イベントの企画運営も引き続き行なっています。

これからも自分の感性を大切にしながら、たくさんの方々と一緒に、地域や社会にとって良い、クリエイティブで新しい取り組みに挑戦していきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



地域発信に関する取材に対応する清水さん

観光ポータルサイト「Tamba Style」



市長・林時彦
時を駆ける

丹波市の賑わいを
取り戻しましょう！



現在、全国的にも新型コロナウイルス感染症の新規感染者が出ている状況が続いており、丹波地域においても一定の感染者数が見られるところです。しかしながら、国・県においては、病床利用率や新規感染者数の状況が比較的落ち着いていることから、入院医療体制の対応が緩和されました。

市においては、引き続きこれまでの手洗いや手指消毒、人々との距離の確保、定期的な室内換気など日常生活での基本的な感染防止対策の徹底をお願いしています。なお、マスクの着用については、熱中症予防の観点から、屋外で距離が確保できる場合や会話をしない場合は外すなど、状況に応じて適切なマスクの着用をお願いします。

また、感染や重症化を予防するため、積極的なワクチン接種を推奨しています。4回目の接

種券を順次郵送していますので、接種を受けていただくことをお勧めします。

一方で、地域の活性化に向けて、感染防止対策が徹底されたイベントなどは、過度に自粛する必要はありません。感染防止対策を十分に図りながら、お祭りや行事など地域の賑わいを取り戻しましょう。6月に入りましてから、花しようにまつりやタンバックスフェスティバルなどのイベントにお招きいただきました。それぞれの会場では元気な笑顔がはじけ、嬉しい活気にあふれておりました。

元気な丹波市を取り戻すため、市民の皆さん、事業者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



タンバックスフェスティバルのステージでスピーチをする林市長

丹波市長 林 時彦